



報道関係各位

2014年11月6日

## ハンファQセルズ、800メガワット規模の太陽光モジュール工場を建設

- 主要生産拠点のマレーシアに4つの生産ライン建設を計画
- 2015年初頭より建設開始、完成は2016年初頭を予定

ハンファQセルズ（本社：ドイツ・ビッターフェルド、CEO：キム・チャールズ、以下Qセルズ）は、欧州時間2014年10月29日（水）に、当社の主要生産拠点であるマレーシアのサイバージャヤに新たなモジュール生産工場を建設する計画を発表いたしました。新たに増設される工場は、オートメーション化された最新鋭の4つの生産ラインを完備し、高性能太陽光モジュールの大規模生産が可能となります。これによりQセルズのマレーシア工場では800メガワット以上のモジュール生産を実現する予定です。

Qセルズは、現在、欧州で最大規模の太陽光モジュールメーカーに成長しています。2014年度末までに1.5ギガワットを超えるセル生産規模拡大を発表しており、2014年度のモジュール累計出荷量は1~1.2ギガワット、単年度黒字化を見込んでおります。今回のモジュール生産ライン建設は、セルとモジュールの製造を同じ工場で行うことにより、生産時間の最適化と流通コストの削減を大きな目的としています。新生産ラインの建設開始は2015年初頭を予定しており、建設と平行して最先端の製造機器の導入もおこなうことで、15年第3四半期には試運転開始を、16年初頭にフル稼働となる予定です。

同社の成長背景には、ドイツの優れたモノづくりの精神に裏打ちされた革新的な技術開発力と、国際的な規模で展開していく大型生産体制の両立があります。今回の計画は世界的に高まりつつある“高品質かつ費用対効果の高い太陽光セルおよびモジュール”の需要に対応すべく、Qセルズの最新の研究技術を組み込んだグローバル生産体制を更に強化するものです。

ハンファQセルズはブランドのタグライン”Engineered in Germany”が示す通り、ドイツ発祥の技術力によってトップクラスの太陽光発電技術で高品質な製品及びシステムを提供し、世界の太陽光業界をリードするグローバル企業となることを目指し、邁進してまいります。

### 報道関係お問い合わせ先

ハンファQセルズジャパン株式会社

広報担当：小林美砂

TEL 03-5441-5928

EMAIL [info@hqj.co.jp](mailto:info@hqj.co.jp)



## 【ハンファ Q セルズについて】

ハンファ Qセルズはドイツを拠点とした太陽光プロバイダーで、ヨーロッパにおいて2014年の出荷量一位を記録しています。“Engineered in Germany”のブランドのもと、太陽光モジュールから、システムやソリューション、発電所の建設など、幅広く太陽光ビジネスを展開しています。さらに韓国の大手10大企業の一つでフォーチュン誌の選ぶグローバル企業500社に選出されたハンファ・グループの一員として、長期的なビジネスと安定した財政基盤のもとにビジネスを展開しています。ドイツのタールハイムを研究開発の拠点とし、ドイツとマレーシアの生産工場を中心に、ヨーロッパやアジア各国の関連施設において、厳しい品質基準に従って製品を製造しています。またドイツをはじめ、マレーシア、日本、アメリカ、韓国、フランス、トルコ、チリ、オーストラリアの各国に支部を置き、グローバルなセールス網で、世界のお客様に製品およびサービスを提供しています。ホームページ：[www.q-cells.com](http://www.q-cells.com).

## 【ハンファ Qセルズジャパン株式会社について】

ハンファ Qセルズジャパン株式会社は、1984年2月、韓国の主要財閥企業であるハンファグループの日本法人として設立されました。日本で30年以上の活動を通じて築いてきたビジネスノウハウから強い信頼関係により、日本での太陽光発電ビジネスを推進しています。

所在地：東京都港区芝四丁目10番1号 ハンファビル9階

設立：1984年2月

資本金：26億9,850万円

代表者：代表取締役社長 金 鍾瑞（キム ジョンソ）

事業内容：太陽光モジュールの輸入・販売、太陽光発電システム販売事業、太陽光発電事業、その他太陽光発電業務、および化学、自動車部品、鉄工機械設備などに関する事業

ホームページ：[www.q-cells.jp](http://www.q-cells.jp)